

全日本ジュニアカート選手権第3戦（フェスティカサーキット瑞浪） レポート

富田 自然

金曜日（晴れのち雨）

今日は最終チェック。先週のセットでの走行だが、朝一番からめっちゃくちゃ速い（新しいタイヤのため）し、セットも問題なし。ほぼどのセクションでも1番速かったと思う。明日からはデリバリーエンジンなので、いいエンジンが当たるように祈り、寝た。

土曜日（晴れ）

今日はエンジンテスト（キャブ合わせ）をすればOKだったのだが、全然トルクがなくて立ち上がらない。メカニックにそのことを伝えると、キャブを次々と交換して一番マシなキャブにしたが、まだトップクラスより0.2~0.3秒遅い。これでは着いていけても勝負にならないので、スプロケットを変えたりジャバラを変えたり、吸気サイレンサーを変えたりと一日中セット変更に使った。僕自身、今までにないくらい必死に走った。でも、これ以上タイムを詰めることができなかった。疲れてヘトヘトになった。

日曜日（晴れ）

今日は朝から不安を残したままサーキットに入った。

フリー走行

昨日テスト走行したキャブではないキャブを試してみた。これなら何とかかなと思って走っていると、Bグループ4番手タイムで走れたが、トップの人が1人49秒台に入れてスバ抜けていたので、これは厳しいかなとちょっと不安になった。

タイムトライアル（晴れ）

いつもは単独でタイトラをするのだが、トップタイムの人の後ろに着けて、スリップを使わせてもらって何とか1番タイムを出すことができたが、ぼくとしては、あまり嬉しくない1番だった。

予選（晴れ）

スタートも上手くいき、これならと思ったところ、瑞浪名物たこつぼコーナーの立ち上がりで僕のマシン後部に飛んできたマシンに押し出されリタイヤ。あれはひどい。この時点で絶望的だった。ペナルティーがないのが不思議だった。

決勝（晴れ）

27番スタート。スタート直後の2コーナー立ち上がりで10台くらいが絡む大クラッシュ。ぼくも通り抜けようとしたとき、後ろから乗り上げられてストップしたが、何とかレースに復帰。もうこれはどうにもならないと思いながら走行していたところ、ラッキーなことに赤旗がでた。10台がリタイヤして21台での再決勝となるが、21番スタート。再スタート後は混乱もなく、順位を次々と上げていき、5~6周で10番手まであがり、前のほうが見えてきたのでそれからは落ち着いて確実にパスしていった。7番手くらいまで上がったが、僕のラップタイムが全く上がらず、それなのに抜き返してくる人としばらくバトルしていたので、残り周回数が少なくなってしまった。このままでは四国へ帰れない！！と思い、そこからはとにかく必死にコントロールした。それからは自分がどう走ったか、ほとんど覚えていない。気が付けば最終ラップに入り、前の3台がバトルして接触していたのを2台かわし、2番でゴールした。やったー！でも、あと1周あれば優勝できたかも。

反省

土曜日、エンジントルクがないと言った後、メカの森本さん、山下さん、父と3人が必死にトルクが出るようにセット変更してくれたことに感謝しています。優勝は出来なかったけど、チーム全員が必死に戦ったレースなので、みんなに感謝したいです。結果は2位でしたが、スポンサー・サポーターの人たちにも喜んでもらえるといいです。

来月には、第4戦中山カートウェイがありますが、是非大勢で見に来て下さい。僕も全力で頑張ります。